

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011神第121号	
事故等種類	運航不能（主機逆転減速機損傷）	
発生日時	平成23年5月20日 16時20分ごろ	
発生場所	兵庫県姫路港広畑第2区 広畑東防波堤灯台から真方位205° 2,300m付近 （概位 北緯34° 44.7 東経134° 37.1'）	
事故等調査の経過	平成23年7月26日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第一 ^{まっつ} 撰津丸、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	133268、撰津海運株式会社	
乗組員等に関する情報	機関長、四級海技士（機関）、運航会社工務監督	
死傷者等	なし	
損傷	軸発電機制御用ベースロードポンプ損傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか3人が乗り組み、兵庫県姫路港網干第1区を出港して同港広畑第2区を航行中、平成23年5月20日16時20分ごろ、主機に異音及びハンチングが生じたので、主機を停止して投錨した。</p> <p>本船は、主機逆転減速機付属の軸発電機制御用ベースロードポンプが損傷しており、逆転減速機と軸発電機の潤滑油系統が同一であり、損傷が逆転減速機に及ぶことが懸念されたため、自力航行を断念して引船にえい航されて阪神港神戸区兵庫突堤に接岸した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 3</p> <p>海象：波高 約0.6～1m、うねり 約0.5m</p>	
その他の事項	<p>本船は、平成7年9月進水以降、主機逆転減速機の開放整備来歴がなかった。</p> <p>本船は、現船舶所有者が約2年半前に買船して裸用船に出していたもので、運航会社は、主機逆転減速機の開放整備来歴を知らなかった。</p> <p>機関長は、乗船したばかりであった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、姫路港広畑第2区を航行中、軸発電機制御用ベースロードポンプが経年劣化により損傷したことから、主機の運転を断念して運航不能となったものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が、姫路港広畑第2区を航行中、軸発電機制御用ベースロードポンプが経年劣化により損傷したため、主機の運転を断念したことにより発生したものと考えられる。	